

Profile

林家 たい平

Hayashiya Taihei

昭和39年生まれ 埼玉県秩父市出身

経歴

昭和62年 武蔵野美術大学 造形学部卒業
昭和63年 林家こん平に入門
平成 4年 ニツ目昇進
平成12年 真打昇進
平成22年 武蔵野美術大学芸術文化学科客員教授就任
平成26年 社)落語協会理事就任

受賞歴

平成5年 北区若手落語家競演会 優勝
平成5年NHK新人演芸コンクール 優秀賞受賞
平成6年につかん飛切落語会 特別賞受賞
平成10年につかん飛切落語会 奨励賞受賞
平成11年さいたま芸術劇場主催 彩の国落語大賞受賞
平成16年・20年 国立演芸場主催花形演芸会金賞受賞
平成20年平成19年度(第58回)芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞

桂 宮治

Katsura Miyaji

昭和51年生まれ 東京都出身

経歴

平成20年2月 桂伸治門下として浅草演芸ホール楽屋入り
平成20年3月 浅草演芸ホールにて初高座「子ほめ」
平成24年3月 下席よりニツ目昇進

受賞歴

平成 24年 NHK新人演芸大賞 落語部門 大賞
平成 25年 につかん飛切落語会 最優秀賞
平成 26年 前橋若手落語家選手権 優勝
平成 26年度 国立演芸場「花形演芸大賞」銀賞
平成 26年 につかん飛切落語会 最優秀賞(二年連続受賞)
平成 27年 第26回北とびあ若手落語家競演会 北とびあ奨励賞
平成 27年 第2回高円寺エトアール寄席ニツ目グランプリ決定戦 優勝



Hayashiya Shoraku

林家 正楽

昭和23年生まれ 東京都目黒区出身

経歴

昭和41年 二代目林家正楽に入門 芸名「一楽」
昭和63年 「林家小正楽」を襲名
平成12年 三代目「林家正楽」を襲名

受賞歴

昭和58年 第13回国立新人演芸会金賞
昭和63年 第3回選抜若手演芸大賞色物部門奨励賞

落語豆辞典

落語の骨組み

まくら……話の始まり。導入部分。高座に上がった落語家は小噺等で客席の反応をさぐり、その雰囲気 で演じる噺(演題)を決めます。
入り……「まくら」から本題に入っていく部分。
くすぐり……落語家ならではの視点で捉えた出来事などを小噺やシャレとして笑い話にしたあげます。簡単に言うと「ギャグ」のこと。
本題……話の中心。「しぐさ」を入れ「くすぐり」を加えながら話を進めます。
落ち……話を締めくくる落語の命。「さげ」とも言う。

前座・ニツ目・真打

年功と技量によって定められている序列。「前座(ぜんざ)」時代は基礎的なネタや行儀を見習い、「ニツ目(ふたつめ)」になって羽織を着る事を許され、一人前と認められます。さらに「真打(しんうち)」に昇進して初めて「師匠(ししょう)」と称され、寄席に主任として「トリ(終演者)」をつとめることができます。入門から真打になるまで十五年近い年月が必要とされています。

●色物(いろもの)

寄席で落語以外の奇術、太神楽曲芸、曲独楽、紙切り、漫才などのこと。

●一番太鼓(いちばんたいこ)

寄席の開場と同時に前座・ニツ目が打ち込む太鼓のこと。開演直前には二番太鼓を叩く。

●高座(こうざ)

落語を演じる舞台。

●出囃子(でばやし)

芸人が高座へ上がる時のおはやし。各自の芸風や体をあらかず曲として、長唄、俗曲、民謡などからアレンジして決めます。各芸人のオリジナルのテーマソング。